



附属大塚 学校だより

令和4年度 第3号

2022年 7月22日発行

7月のトピックス -筑波大学永田学長と11附属の代表者が大塚に集いました-

7月16日(土)、第11回筑波大学附属学校群(11校)PTA会長会・学長懇談会を、本校プレイルームを会場に開催しました。会の様子は『PTAだより Part2』でも紹介していただいております。合わせてお読みください。

学校だよりでは、休憩時間を利用して、各附属学校のPTA会長、校長、副校長のみなさまに、附属大塚自慢の「ミライの体育館」を体験していただいたことをご紹介します。

体験していただいたのは、「ぬりっこゲーム(ペインティングゲーム)」と附属駒場高校開発(小学部交流時に使用)の「インバーダーゲーム」です。スリッパを履いての体験でしたので、くれぐれもご無理のないようにとお願いをして・・・

まずはぬりっこゲームです。青チームVSオレンジチーム。いざ、スタート!!みなさん、塗られていないところはないかな?と、床面をよく見て、動き回っていました。

そして次は「リアル・インバーダーゲーム」です。ちょうど、ご自身が中高生か大学生の頃に流行ったゲームでしたので、みなさん懐かしそうでした。レベル1からレベル3と、レベルが上がるほどUFOから発射されるビームのスピードが速くなったり、数が増えたりします。みなさんは大人の落ち着きを見せながらも、足をあげてビームを避ける方、わざとぶつかってみる方と、楽しく体験していただきました。

「これは楽しいね」「夏は(暑くて)厳しいね」とのご感想を伺いました。

大塚の宝物です。これから大切にしていきたいと思いました。(副校長)



新転任職員の自己紹介(その3)

保健給食部 名前:web版は非表示 出身地:

ひとこと:



おおつか 1学期の思い出

幼稚園：げんきにお返事 おあつまり

幼稚園の朝のあつまりは、10人でダイナミックに活動しています。今年の年長さんもこれまでの先輩たちに倣って、それぞれ役割を担って司会進行ができるようになりました。今年入学の年少、年中さんのお友達も4月、5月は泣いたりすることもありましたが、今ではここにこで参加し、元気にお返事をしたり、季節の歌を楽しんだりできるようになりました。中でも1学期にたくさん歌ったのは大塚伝統の「月火水木金土日のうた」「カレンダーマーチ」です。♪「土曜日～どんだんどんだん掘っている～」ではみんなで足をドスンドスンと鳴らして楽しんでいます。2学期のあつまりもお楽しみに！（幼稚園主事）



小学部：そら組・つき組の宿泊学習とはな組の水あそび！

1学期の小学部では宿泊学習を行いました。5月のそら組はBumB東京スポーツ文化館に宿泊し、お台場のチームラボボーダレスや葛西臨海公園、プール、水上バスなどの盛り沢山の活動に取り組みました。公共交通機関を使って移動することができ、さすが高学年です。7月のつき組もBumB東京スポーツ文化館に宿泊し、上野動物園と葛西臨海水族園、パークトレインなどの活動を楽しみました。モルモットに触れる体験にもチャレンジしました。はな組は7月に水遊びを行いました。前庭にブルーシートと簡易プールを広げ、じょうろや水でつぼうなどを使ってめいめい体動かししました。水あそびの日は登校した時から期待感いっぱいのはな組の子どもたちでした。（小学部主事）



中学部：中学部2・3年 校外学習に行ってきました！

7月7日に中学部2・3年生で校外学習へ行きました。まず、最初に「森永エンゼルミュージアムMORIUM（モリウム）と鶴見工場」の見学へ行きました。工場見学では、店頭でよく見かけるお菓子（『小枝』と『ハイチュウ』）の製造ラインを見学してもらい、次々と機械でお菓子が出来上がり、パッケージされる様子を生徒たちも興味深く見ていました。展示室も商品（アイスやビスケット、inゼリー等）の模型や映像等を見ながら説明を聞いて、最後まで楽しく見学することができました。

次に向かった「カップヌードルミュージアム横浜」では、世界各国の麺を味わえる『NOODLES BAZAARワールド麺ロード』で好きな麺を注文して食べました。その後は、自分でデザインし、好きなスープとトッピングを選んでオリジナルカップヌードル作りをしました。今回の校外学習を通して、身近な商品の製造から販売等についても興味を持ち、私たちの生活と密接に関わりがあることを知る機会になればと思います。（中学部主事）



高等部：ゴロ卓球大会

高等部の1学期最後の体育が行われました。熱中症対策のため冷房の効いた各教室に卓球台、長机を設置し、ゴロ卓球、卓球ホッケーを楽しみました。3つのグループに分かれ、それぞれトーナメント戦、総当たりリーグ戦で競いました。これまでの練習成果を遺憾無く発揮し、熱いラリーが繰り広げられたことは言うまでもありません。手に汗握る攻防を制した優勝者には、表彰状が授与されました。試合を終えた選手は、「勝っても負けても笑顔で礼」。フェアプレーの精神あふれる高等部の皆さんは素晴らしいアスリートです。（高等部主事）

